



No.35

平成26年10月21日発行

おおい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



中区 (写真提供：日本風景写真協会 知見 治 氏)

Contents

- こんなことが決まりました 2
- 委員会審議 4
- 議案審議結果 7
- 町政ここが聞きたい！(9月定例会) 8
- 活動・研修報告 14
- あれからどうなったの？ 15
- 輝く人 16

5回
定例会

こんなことが決まりました

9月補正予算 9億円増額

第5回定例会(9月2日~9月26日)では、補正予算や、工事請負契約の締結など議案10件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、陳情6件の審査を行い、2件を採択、3件を不採択、1件を継続審査と決定しました。
平成25年度一般会計、特別会計の歳入歳出決算認定については、予算決算特別委員会で集中審査を行い、原案のとおり認定しました。

第5回
定例会

施設整備に備え3億4300万円を積立

■平成26年度9月補正予算

算 367万9千円

●8億9649万2千円

増額 総額134億8843

万3千円となる。

□一般会計補正予算

8億7135万6千円

増額

【賛成多数・可決】

□特別会計補正予算

2513万6千円増額

【全会一致・可決】

【主な歳出】

○行政事務オンラインシステム管理事業

町のシステムと国の情報提供NWS(ネットワークシステム)との情報

報のやりとりを行うシステムを構築するもの。今後、このシステム整備を

始めとして、平成28年1月から開始される番号制

度導入に向けた対応が行

われる。

367万9千円

○財産管理事業

庁舎R階を書庫とするため、庁舎改修などを行うもの。

5260万円

○電源立地地域振興基金

管理事業

総合運動公園施設改修整備及びFTHH整備に伴い基金を積立るもの

3億4300万円

○ホームページ運営事業

町ホームページのレイアウトや内容を変更するため、業務委託を行うもの。

324万円

○戸籍住民基本台帳事務

社会保障・税番号制度の導入に係る住民基本台帳システムの改修を行うもの。

1284万2千円

○総合町民センター管理事業

平成26年度~27年度にかけて外部・内部改修や大ホール等の改修を行うもので、26年度の外部改修、電気設備改修を行うもの。

9524万8千円

○予防事業

平成26年10月1日から定期予防接種に追加された、水痘ワクチン及び成人用肺炎球菌ワクチンに係る予防接種委託などを行うもの。

○清掃センター管理事業

管理委託料やごみ処理施設の改修工事等を行うもの。

○水産物供給基盤機能保全事業

日角浜護岸の補修工事

4000万円

○過年発生農業用施設災害復旧事業

台風により被災した佐野頭首工、呑頭首工、横折用水路の復旧工事を行うもの。

4740万円

■陳情

●政府が福井地裁大飯原発3・4号機運転差し止め判決をふまえ、人格権を優位において原子力政策を行うことをもとめる意見書採択を求める陳情

【賛成少数・不採択】

●希望する全ての人への放射能健康診断の実施を求める意見書の提出を求める陳情

【賛成少数・不採択】

●軽度外傷性脳損傷の周知、及び防災認定基準

の改正などを求める陳情

【全会一致・継続審査】

●福井地方裁判所の「再稼働差し止め」判決を尊重し、高浜原発3号機、4号機及び大飯原発3号機、4号機の再稼働中止を求める意見書の提出を求める陳情

【賛成少数・不採択】

●地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

【全会一致・採択】



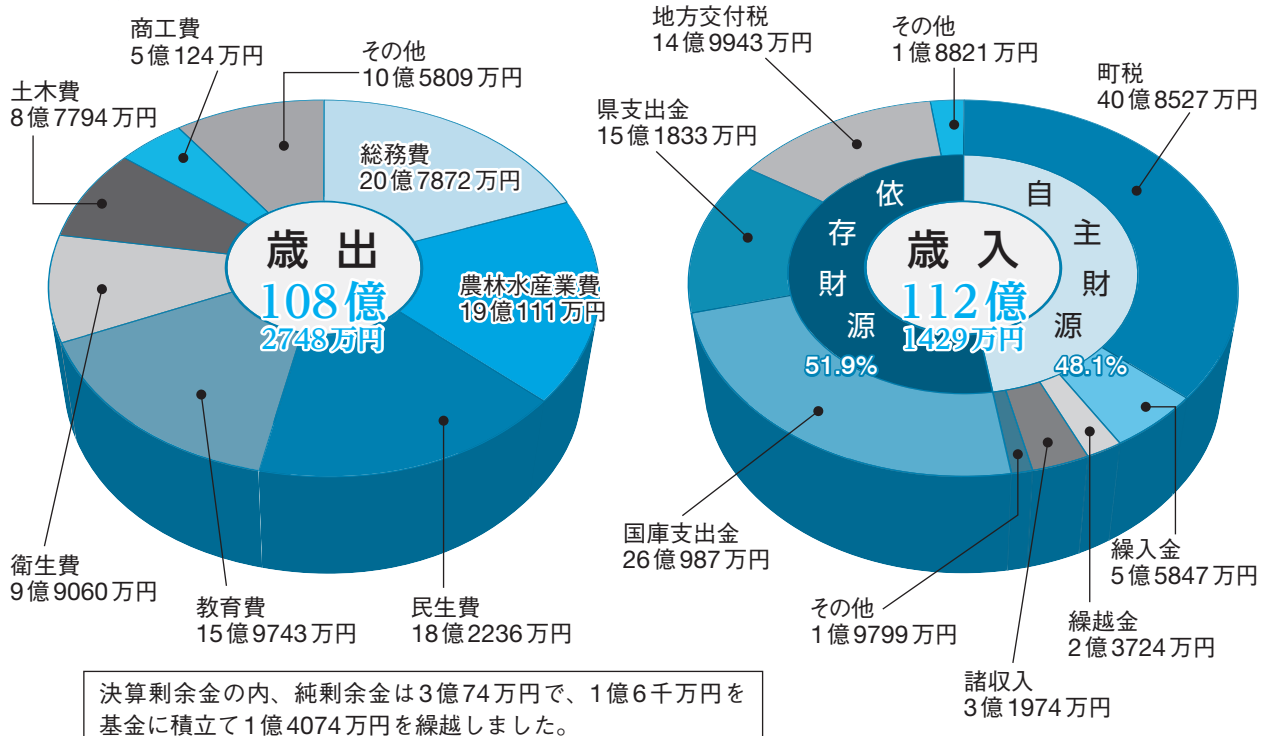
陳情提出者の福井県聴覚障がい者協会の方々が議会を傍聴

こんなことが決まりました

安定した財政を堅持

25年度決算
認定

■一般会計



■特別会計

(単位：千円)

区分	歳入			歳出			純計額 歳入歳出 差引額
	総額	他会計 繰入金	純計額	総額	他会計 繰出金	純計額	
後期高齢者医療	90,578	26,446	64,132	90,307	0	90,307	△ 26,175
国民健康保険	845,794	85,779	760,015	845,794	△ 1,050	844,744	△ 84,729
国民健康保険診療	86,944	3,402	83,542	86,944	0	86,944	△ 3,402
介護保険	845,585	146,669	698,916	838,804	0	838,804	△ 139,888
介護サービス	4,390	1,513	2,877	4,390	0	4,390	△ 1,513
簡易水道	389,970	267,759	122,211	389,970	0	389,970	△ 267,759
農業集落	399,840	312,296	87,544	399,840	0	399,840	△ 312,296
特定環境保全公共下水道	107,623	91,185	16,438	107,623	0	107,623	△ 91,185
合計	2,770,723	935,049	1,835,674	2,763,672	△ 1,050	2,762,621	△ 926,947

※上記円グラフ、表の金額は、各項目で四捨五入しているため合計金額が合わない場合があります。

一般会計 賛否あり 討論概要

賛成討論

今川直樹 議員

①歳入は堅調 ②「道の駅うみんぴあ大飯」・「みどりの広場」の入館者数はほぼ計画どおり ③経常収支比率81.6%は対前年比2.7ポイント回復 ④財政力指数1.03で昨年より0.01ポイント上昇し堅調

反対討論

猿橋 巧 議員

①原発依存体質 ②こども家族館の施設運営の在り方 ③非正規職員数の雇用体系見直し ④琵琶湖若狭湾快速鉄道基金積み立て ⑤県地方税滞納整理機構の負担金 ⑥「うみんぴあ大飯」「みどりの広場」は箱物行政 ⑦学力テストを行っている

こんなことが決まりました



慎重に チェック

委員会 審議 (5回定例会)

予算

平成25年度決算を質す

予算決算常任委員会

付託審議内容

定例会で付託された25年度会計別決算並びに9月補正予算を審査し、決算については認定、補正予算については原案のとおり可決した。

■決算審査の 主な質疑

未納・滞納・督促は

問 学校給食費の未納と滞納繰越の理由を把握しているか。また、納入の督促をどのように行っているか。

答 把握している。徴収に行き、計画的な入金もあり、現在は少し減っている。

問 きのことセンターの、土地建物貸付収入滞納繰越分が昨年度もあ

り、残額返済されると聞いていたのに、なぜ今回も出るのか。

答 平成23年度分は完済されたが、24年度分が未納である。取締役から返済計画書が提出され、今月末に70万円を返す等、平成28年度までの返済計画が示されている。

指 昨年と同じことを繰り返しているの

で、強く指導すべきである。

歳入

問 合併特別の普通交

付税が、激変緩和措置になると、どのように減額となるのか。

答 合併特別措置の期限が切れる平成28年から5年間かけて目減りし9割、7割、5割

3割、1割となる。

問 たばこ税が、前年度比較で1千万円増加しているが、喫煙者が増えたのならば、健康づくり

に相反することとなるが、分析はしているか。

答 今後十分分析し、

税収を確保しながら、健康づくりも確保したいと考える。

婚活事業

問 若者出会い交流事業の状況と次年度の計画は。

答 平成18年から12回実施で301名参加し4組が成立。今後も

出合いの場を広く検討したい。

災害復旧工事

問 昨年9月の台風18号の災害復旧工事

で、大きなものは1年かかっているが、通常工事

と違い、急いでやるべき。

答 住民が生活に困るものは、町で早急に修繕している。林道や多少時間に余裕のある大型予算のものは、国の補助を得るため、査定等の手続きに期間を必要とする。

と違い、急いでやるべき。

理頭数は2101頭である。

問 こども家族館は県の指定管理を受け

ており、県からの収入があるべき。建設当初の方針もあるが、見直しの時期では。

答 県の主体によるイベントや企画展の要請をし、少しでも、県立児童科学館とバランスがとれた形になるよう要請をしていきたい。

経費削減は

問 運動公園全体の維持管理が1億2千万円という規模になっており、経費削減をどう考えているか。

答 平成28年度に公共施設管理計画を立てることになっており、公共施設の在り方も含め、経費削減について計画していく。



被災した頭首工

負担金は

問 有害獣の処理加工施設利用負担金の負担割合は。

答 466万1378円であり、持込重量の応分を負担金として支払う。おい町分の処

雇用・待遇

問 職員定数もあるが、住民に接する職員は、極力正規職員を配置することが適正と考える観点から、非正規職員の雇用については是正が必要では。

答 170人が適正な数とも言われており、総合的に考え取り組んでいく。

問 保育士等処遇改善臨時特例補助金603万円の内容は。

答 私立保育所職員に臨時一時金として支払うもので、支払方法は各保育園に委ねている。

教育

問 町費負担教員11名が特別配置されているが、その効果は。

答 発達障害の子どもの補助をして、教員が指導しやすくするこ

とで効果がある。

安全維持管理は

問 佐分利街道の通学路外灯が新設されたが、桜の葉が電灯を覆って暗い。取り付け位置を変更するなどの検討が必要では。

答 桜の管理も町にあり、交通安全面を含めて検討する。

問 防災時告知システムで、放送設備から時報のメロディーが流れるが、苦情もあり、検討してはどうか。

答 音声告知放送の在り方、また、メリット、デメリットを検証し、検討する。

9月補正審査の主な質疑

補助金

問 老人クラブ連合会の補助金59万8千

円の増額は何か。

答 行事のバス利用が多く、8月にバス料金が値上げとなったことから増額対応した。

改修工事

問 総合町民センター管理事業で、今年度の屋根の防水工事は、普通工事が、強化を図るものか。

答 ホール入口と、ルーフのクラック部分を改修する。全面改修ではない。



総合町民センター

可燃ゴミ処理広域化

問 国の方針は大型化を進め、交付金も

充当すると聞くが、各市町が条件に合致しなければ解散もあるのか、建設前提で進めるのか。

答 建設候補地も含め、嶺南広域の管理者をメンバーとして協議されている過程であり、限定的に開始している訳ではない。

問 高浜町から美浜町までは範囲が広く、一本化は難しいのでは。距離が長いところは、中継センターを通じて焼却施設へ持つていく。

答 成人病肺炎球菌ワクチンで、年齢を5歳刻みと限定する国の事業内容では、4〜5年待つ人もでる。高齢者に多い病気で、町単独事業の予防接種として、枠を広げて実施すべきでは。

予防事業

問 成人病肺炎球菌ワクチンで、年齢を5歳刻みと限定する国の事業内容では、4〜5年待つ人もでる。高齢者に多い病気で、町単独事業の予防接種として、枠を広げて実施すべきでは。

答 現時点の9月補正では、国の方針に基づくと手当て実施したい。今後、必要があれば検討していく。

問 A類接種となった水痘予防接種は、償還払いでなく、窓口の無料化ができないか。

答 契約医療機関では、A類は窓口での支払いはない。なお、年度内に予防接種広域化により、県医師会との契約が整うと償還払いの必要がなくなる医療機関が増える。

問 対象の方(またはその保護者)は接種を受けるように努めなければなりません。疾病は、ジフテリア・百日せき等で、新たに、水痘水ぼうそうが加わりました。B類：対象者本人が接種を希望する場合に実施されます。(高齢者)で、新たに、成人の肺炎球菌感染症が加わりました。

ホームページ運営

問 町長の部屋のメールは町民限定か。

答 町民限定とし、登録してパスワードが発行される。

問 町内業者のバナー広告を考えていないか。

答 現在は需要がないが、要望があれば今後検討する。

9月補正予算

反対討論

猿橋巧委員

【討論概要】

①共通番号制度システム改修補助は、コストが多大で個人情報漏えいや悪用される危険性がある。

②一般廃棄物広域化計画策定予算は、処理場の大型化を招き、ゴミの減量推進を遅らせる。責任者不明確で議会機能が形骸化する。

総務

学校教育にICT導入を決定

総務常任委員会

付託審議内容

定例会で付託された議案1件、陳情3件を審査し、議案は原案のとおり可決した。

陳情については、2件を採択、1件を継続審査とした。

●議案50【動産の取得について（学校教育IC T設備）】

主な質疑

問 7月1日に公告し、結果2社の競争入札となったが、公告以降では、何社からの申し入れがあったのか。

答 当初から2社であった。

問 落札したNTTビジネスソリューションズ(株)は、これまで他の市町等において実績はあるのか。

答 実績はある。

答

実績はある。

問

タブレットの使用頻度等はどの程度か。

答

初めての事業であり、使用内容等については、今後検討していく。ICTの支援員も配置するので、今後、内容を組み立てていく。

●陳情7【軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情】

軽度外傷性脳損傷の判定は、極めて難しい状況にあることから継続審査とした。

●陳情9【地方財政の充実・強化を求める意見書採択について】

地方交付税の算定にあたっては、国と地方自治体との協議が非常に大き

なことから採択とした。

●陳情10【手話言語法制定を求める意見書】

早期に制定されるべきであることから採択とした。

産業建設

久坂中ノ畑小浜線拡幅工事着手

産業建設常任委員会

付託審議内容

定例会で付託された議案1件を審査し、原案のとおり可決した。

●議案49【工事請負契約の締結について（道路維持補修工事（久坂中ノ畑小浜線））】

主な質疑

問 本整備は5年で完成させられるのか。

答 概ね5カ年で完成させる。

問 今回の計画では、木谷地係までだが、この奥にあ

る挙原や永谷地係まで整備される予定はあるのか。

答 整備が必要であれば、県に要望し検討してもらうことになる。



久坂中ノ畑小浜線

原子力発電対策

陳情3件を不採択

原子力発電対策特別委員会

付託審議内容

定例会で付託された陳情3件を審査し、すべて不採択とした。

●陳情5【政府が福井地裁大飯原発3・4号機運転差し止め判決をふまへ、人格権を優位に

おいて原子力政策を行うことをもとめる意見書採択を求める陳情】

現在この判決に対し控訴している段階であり、現段階で判断できるものではないとのことから不採択とした。

●陳情6【希望する全ての人への放射能健康診断の実施を求める意見書の提出を求める陳情】

陳情の内容はよく分かるが、この調査は国と福島県、東京電力の3者が

調査しており、現在は先行調査が終わった段階で、この後、本格検査をすることを言っており、現時点では見送るべきとのことから不採択とした。

●陳情8【福井地方裁判所の「再稼働差し止め」判決を尊重し、高浜原発3号機、4号機及び大飯原発3号機、4号機の再稼働中止を求める意見書の提出を求める陳情】

現在、規制委員会が技術的な判断をしており、まだ結果が出ていないことや、控訴中であり、早急に判断するべきではないとのことから不採択とした。

■平成26年第5回(9月)定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
報告 8	平成25年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	報告	陳情 5	政府が福井地裁大飯原発3,4号機運転差し止め判決をふまえ、人格権を優位において原子力政策を行うことをもとめる意見書採択を求める陳情	不採択
報告 9	平成25年度決算に基づく資金不足比率の報告について	報告			
認定 1	平成25年度一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	陳情 6	希望する全ての人への放射能健康診断の実施を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
議案41	平成26年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決	陳情 7	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	継続審査
議案42	平成26年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決			
議案43	平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	陳情 8	福井地方裁判所の「再稼働差し止め」判決を尊重し、高浜原発3号機、4号機及び大飯原発3号機、4号機の再稼働中止を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
議案44	平成26年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決			
議案45	平成26年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	陳情 9	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択
議案46	平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	陳情10	手話言語法制定を求める意見書	採択
議案47	平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	発委 2	地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決
議案48	平成26年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	発委 3	「手話言語法」制定を求める意見書について	原案可決
議案49	工事請負契約の締結について(道路維持補修工事(久坂中ノ畑小浜線))	原案可決	—	議員派遣報告および議員派遣	報告および派遣
議案50	動産の取得について(学校教育ICT設備)	原案可決	—	委員会の閉会中の継続審査について	閉会中の継続審査

■賛否が分かれた議案

	辻	浜田	尾谷	森口	猿橋 啓	浜上	今川	森内	古石	小川	新谷	中本	猿橋 巧
認定 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案41	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
陳情 5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
陳情 6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
陳情 8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

○は賛成 ●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席 (※松井榮治議長は採決に加わらない。)

9月定例会では、6人の議員が一般質問をしました。

増加する空き家問題の取り組みに対する町長の決意は

町長 対策には様々な問題があるが、法案成立を見守りたい



今川 直樹

空き家の現状と取り組みは

町長 調査では160戸となるが、所有者が条例で適正管理をすることになっている

町の取り組みが一向に見えない。

企画課長 「美しい自然と風景を育む条例」で所有者は適正な管理をすることになっている。また「空き家情報バンク」を開設した。

所有者に対する指導実績は。

企画課長 倒壊恐れのある所有者と話し合いをした。

現状調査とデータの整備が重要である。国も立法化の準備をしている。

町長 空き家対策は所有権が問題で進まない面がある。

法案では、家屋の強制撤去や勧告、命令、罰則規定、補助制度、活用策などを設けて対処している。

町長 法案を注視する。

既に県内の8自治体が条例を制定し

取り組んでいる。おおい町も条例制定を急ぐ必要がある。

町長 所有権問題や活用策にも課題があるが、今のままで良いとは考えていない。

原発事故「避難マニュアル(手引書)」は住民理解が鍵

総務課長 住民に直接意見を聞いたり、公募も考えている

犬見地区は5km圏内の避難対象外地域だが、高浜町のように対象を拡げる柔軟な考え方が必要でないか。

総務課長 犬見は対象外だが事態の進展よっては大島と同様の扱いもある。

30km圏内は、有事の際に線量の実測結果に応じて避難地域が段階的に指示される。避難単位は集落ことになるのか。

総務課長 基本的には小学校単位を想定しているが、集落単位か学校単位かは判断時点による。

集落単位での避難指示もあり得るなら、隣の集落が避難すれば残された集落は混乱が予想される。これではマニュアル(手引書)は役に立たない。

総務課長 検証が必要と思う。今後の訓練の中で徹底したい。その他の課題は。

副町長 ①集落ごとの避難経路や集合場所、除染場所、避難先施設。②児童生徒や在宅介護者、入院患者の避難手段。③非難時における情報伝達手段。④安定ヨウ素材の予防服用体制の整備など。

住民の安心のためにも、日頃から避難先との交流や連携が大切である。若狭町は町長、区長、団体のリーダーなど150人が避難先を訪問している。おおい町も政策としての取り組みが必要。町長はどう考えているのか。

町長 町長就任挨拶に伊丹市と川西市を訪れている。観光面も含めた日常的な交流をお願いした。

町長 兵庫県が想定したシミュレーションにより対応は変わるとのこと。

避難マニュアル(手引書)の実効性は、住民の理解と積み重ねる訓練が大切である。

町長 先般の防災訓練での反省点を踏まえた再検証と住民への周知を図っていく。

学校の原発事故避難時の課題は何か

教育長 兄弟が別々に就学している場合の対処など

避難マニュアル策定の骨子は。

教育長 保護者への引渡し方法や職員が取るべき行動を明記している。

先日の高浜での全国初の児童生徒の訓練の検証結果は。

校長 校長間の共通理解が重要となる。

保護者への周知の方法は。

教育長 学校で説明会を開く。

きのこの森を魅力ある施設に

町長 一層の集客を図るための検討態勢を準備



辻 徹

問 きのこの森をより魅力のある施設に再整備することは活性化対策として極めて有効な施策である。単なる公園の模様替えに終わる事なく再整備計画に当たるべきだと考えるが。

答 (町長) 先の6月議会において、「きのこの森利用活用計画策定業務委託料」500万円を予算計上し、より魅力のある施設として再生し、より一層の集客と地域活性化を図るための検討体制を準備した。本施設



きのこの森

族連れがなかなか足を運ばず、入館しても何の案内もなく、ただ見るだけの状況にある。中学校と連携する「きのこの研究所」にし、全国にPRする方が展示施設として維持管理するより得策ではないか。

設の設置目的に沿った形で検討を進め、これまで培ってきた管理運営実績や安全対策を最優先に、既存の施設や遊具を有効活用しながら、ふるさと交流センターを中心とする生涯学習の場としての機能充実にも力を入れる。

問 きのこのしり館は、公園に来た家

答 (町長) 家族連れが公園に訪れた時にきのこのしり館に立ち寄って頂くために、案内や動線を工夫する必要があります。意見として頂戴する。

問 きのこの森、ふるさと交流センター

は、旧大飯地区と名田庄地区を直接つなぐ町内唯一の道路、県道坂本高浜線沿線である。旧大飯地区と名田庄地区の交流の場としても活用できる環境を整備しては。

答 (町長) 環境整備については、具体的な提案があれば拝聴したい。公民館を町の活性化の一助となるよう有効な活用を考慮していく。

問 福井市では人口対策本部を立ち上げて取り組むとのことだが、おい町においても対策部門を立ち上げる考えはあるか。

答 (町長) 平成29年度を目標とした「第1次おい町総合計画」の改定を前倒しして行う。人口減少問題の影響、課題を分析し、それに対処する施策等の立案を、全庁的に行う組織を設置する。

問 人口減少と人口の都市部集中によって、地方では少なくなつた人口の取り合いになる。他の自治体には無い一歩進んだ対策が必要だ。

答 (町長) 国では「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、年明けを目途にビジョンを取りまとめられるので連動しながら取り組む。町として特質のあるインセンティブを働かせる可能性があるものは何なのか検討し、しっかり取り組む。

問 町政こことが聞きたい！



きのこのしり館

ふるさと交流センター

みんなで取り組むまちづくりプロジェクト推進体制の再構築と、プロジェクト参加者を再募集し住民目線による施策展開を早急に行うべき

町長 プロジェクトの理念を継承しながらしっかりと取り組んでいきたい



古石 實

問 第1次おおい町総合計画に基づく、「みんなで取り組むプロジェクト」の取り組みは、交流人口・定住人口・活動人口のそれぞれの環を動かす重要な施策であるが、現状において十分な施策展開ができていないと思われる。

従って、常設的なプロジェクト推進体制の再構築と、プロジェクト参加者の再募集を行い住民目線による施策展開を早急に行うべきと考えるがど

うか。

答 (町長) 平成20年4月から、総合計

画において、おおい町のまちづくりに主体的に参画し、住民と町が協働してまちを育むことができれば、交流人口の環・定住人口の環・活動人口の環を動かす取り組みを「みんなで取り組むプロジェクト」として位置づけ、取り組んできた。

また、平成23年度に「おおい町元気なまちづくり支援事業」を創設し、町民の方々によるまちづくり活動団体に対し、財政的支援や情報収集、情報提供など側面的な支援を行っている。

しかしながら、協働の



道の駅ライトアップの会による若狭本郷駅前イルミネーション

意識の醸成や町民活動の広がりにおいては、まだまだ不十分であると認識しており、今後とも現制度を引き続き実施して行くとともに、前倒しで着手することとしている。総合計画の改訂作業の中でも、しっかりと議論していきたい。

問 質問に対する回答として理解できない。現制度を引き続き実施し、前倒しで着手とはどういうことか。

答 (町長) 住民の参画を広く募って、意見をいただきながらまちづくりに参画いただくということは地域に対して愛着心も芽生えて活性化するといった部分で重要なことだと思っている。その意味において、みんなで取り組むプロジェクトの意識は継承しながらしっかりと取り組んでいきたい。

現制度を引き継ぐという意味合いは、現行の補助金制度は補助金漬けにならない仕組みの価値ある制度であり有効に活用していたと意味で引

き続き実施と述べたものである。

また、前倒しで着手とは、この方策をより有効に活用、また足りないところについては今後思考していくとした意味合いから総合計画等の前倒しをした計画策定の中で考えていかなければならない継続的な課題だといった意味合いである。

問 プロジェクト参加者の募集は、平成20年の1回で終わっているが、この計画で求めているのは継続的に実施することであり不十分である。早期に再取り組みを再開すべきである。

答 (町長) 理念に基づいた活動を活性化する働きかけの意味においては、この制度の周知も含めて、あるいはこの取り組みに参画してみようという方々の掘り起こしをも含めて、まだま

だ足りない面もある。

福祉、産業、まちづくり等いろんな活動が発生してゆくことは町づくりにとって非常に重要な部分だと思うので、この活動が高揚するようにPRや指導的な行政の役割も含めて努力をし、取り組んでいく。

また、この取り組みの理念の周知と支援制度の仕組みの改善点を含めて前向きに取り組みたい。

問 次回の総合計画の見直しでは、計画の在り方や審議会の在り方等について、住民意見の反映が可能な限りできる体制で行うべきである。

答 (町長) ご指摘のとおり住民意見が十分反映されるよう取り組む。

公共施設の老朽化対策は

町長 長寿命化や更新に伴う財政負担が大きな課題となってくる



森口 精治

問 高度経済成長期に建設された公共施設の老朽化対策は。

答 (町長) 庁舎や学校は30年から40年近く経過している。大飯地域の水道は古いもので45年を経過している他、多くは昭和60年から平成元年に、下水道は昭和62年から平成5年にかけて整備している。

名田庄地域は、水道が昭和48年から同63年に、下水道は平成9年から同12年にかけて整備された。橋では、古いものは59年

経過している他、多くは昭和40年から同55年に整備されたものである。今後、長寿命化や更新に伴う財政負担が大きな課題となってくるものと認識している。

問 公共施設等総合管理計画の進捗状況は。

答 (総務課長) 平成28年度中の策定を目前に取り組んでいる。その維持管理の方針は。

答 (総務課長) 総合管理計画の策定過程において、安全性の確保や維持管理、更新等に係る費用の縮減と予算の平準化について財政計画の見直しと併せて検討していきたい。

問 地域経済の活性化と産業の創出にはどのように取り組むのか。

答 (副町長) 大飯発電所の運転停止中であつた平成24年4月頃

問 人口減少社会への対応を問う。

答 (町長) 雇用の場の確保といった観点で、産業団地造成事業計画策定に係る予算を計上したが、人口減少は特に重要なテーマとして、全庁的に検討していく。

問 舞鶴若狭自動車道の全面開通を踏まえ、広域連携はどのようになるのか。

答 (商工観光振興課長) 「若狭地域雇用対策連絡協議会」に参加し、情報の共有を図っている他、「嶺南地域広域行政推進委員会」の中では、広域観光部が発足し協議を重ねている。

答 (副町長) 6次産業化の取り組みの中で雇用機会の増大に努めたい

問 町の活性化を図る素材として、大島地区に伝わる二ソの杜のおまつりを文化遺産として支援し、内外に

発信することを提唱するが。

答 (町長) 今後の課題として。

問 災害時の危機管理体制は十分か。

答 (総務課長) おお

問 い町地域防災計画及び付随する職員初動マニュアルや避難勧告等判断伝達マニュアルに基づいて対応している。近年の豪雨災害等では、従来の常識や経験では測れない事態も考えられること

答 (町長) 現在の所、予定はしていないが、今後の検討課題として。

問 津波対策として、本郷地区と大島地区に避難用を兼ねた多目的タワーの配置予定はあるのか。

答 (町長) 現在の所、予定はしていないが、今後の検討課題として。

問 町の活性化を図る素材として、大島地区に伝わる二ソの杜のおまつりを文化遺産として支援し、内外に

発信することを提唱するが。



町政ここが聞きたい！

町のホームページの情報活用と、全面的なリニューアルを提案する

町長 前向きに検討したい



尾谷 和枝

改善を訴えているが。

答 (町長) 特別警報が発令された際は、ホームページから瞬時に

ホームページから瞬時に周知できるよう、システム改修し活用にも分ける。

問 町外者にも分かる避難場所の地図情報を掲載できないか。

答 (電子情報課長) 避難場所の掲載は可能。

(総務課長) お知らせ欄に防災マップの地図を掲載する。

* SNSを活用した情報化とホームページの全面的なリニューアルを

町長 前向きに検討したい

問 多くの自治体が、ツイッターやフェイスブックで掲載する

問 以前から、災害・避難情報をトップページに赤枠で掲載する

精度の高い情報を確実に伝達することが、防災・減災に重要という観点で取り組む。

* 「ふるさと納税」に対する町の考えは

副町長 本来の制度PRに努めたい

問 「ふるさと納税」は、各自治体によって力の入れ方や考え

方に差があり、最近は魅力ある自治体へ寄附をする傾向が強くなっている。当町の考えは。

答 (副町長) 都市部の解消と、行政サービスのバランス化に画期的な

制度だが、「フレゼント合戦」の過熱で、「故郷に恩返しする」という制度本来の寄付者の想いが置き去りにされていると危惧している。押しつけにならないよう制度のPRに努めたい。

問 平成25年度実績は、全国では4万5千

件で12億6千万円。福井県は855件で9千万円。町の状況は。

答 (総務課長) 7件で55万5千円。例

年20〜50万円を推移している。

問 全国版ふるさと納税関連の、おおい町の欄は、使い道も、謝

礼品も空欄だが。

答 (総務課長) 金額により地元の特定施設利用券、特産品セットなどを送っている。使

い道は、一般寄付金として、使途を特定せず一般財源化している。

チャンスと捉え、積極的に取り組む

町長 交流人口拡大のきっかけ作りとして検討してみたい

問 人気が高い産直品を、道の駅を活用

して選んでもらう方法など、町をPRしなくてはもったいない。

国が、地方重視の姿勢を強調し、ふるさと納税を拡充する方針である。

これをチャンスと捉え、財源の確保と地域の魅力を発信できるよう知恵を絞り積極的に取り組んでいくべきでは。

答 (町長) 「ふるさと納税」には、「寄付を募る」と、「地域をPRして物販する」2つの側面がある。

本来、地方を救済には、交付税のように国が制度設計をして取り組む姿勢が必要である。一方、町のPR、物販等の工夫で、交流人口拡大のきっかけ作りとする提案は、是非とも検討してみたい。

【欄外語句説明②】

*ふるさと納税：故郷などの自治体に寄付をすると居住地で税金が軽減される。西川知事の発案で平成20年から始まった。

【欄外語句説明①】
* SNS... ツイッターやフェイスブックなどのインターネット交流。*クラウド... データをネットワーク上で保存する使い方。

日本が海外で武力行使することに反対を 町長 国会等で十分な議論を交わして欲しいと考える



猿橋 巧

わして欲しいと考える。

海外での「武力行使」を容認する限り自衛隊の活動は憲法違反となり、本町の隊員募集や協力会負担金等の援助活動も問題となるが認識は。

問 安倍内閣が閣議決定した「集団的自衛権行使」は、憲法9条で禁ずる「海外での武力行使」に当たる。再びおおい町の若者を戦争に参加させかねない解釈改憲に対し、町民を代表して反対の意志を示すべきではないか。

答 (町長) 憲法の解釈については、さまざまな議論がなされたうえで決定に至ったと認識している。日本の将来を方向付ける案件なので、国会等で十分な議論を交

問 固定資産税の税率の改正で町民の税負担の軽減を行う必要は

町長 町の税収の約80%を占める基幹的な税金で、標準税率を越える税率採用の意義は大きい

答 (町長) 集団的自衛権行使を前提とした質問と認識している。自衛隊の意義は、防衛出動・治安出動や災害派遣が自衛隊法に規定されている。有事の際における自衛隊の役割は重要な組織であることから、募集をはじめ援助活動は大変意義が高いものと考え

問 本町の率は、1.5%だが、標準税率は1.4%である。超過課税の、意義の減少や町民の税負担の軽減のため標準課税に戻す時期ではないか。

答 (町長) 1.4%にする個人で1400万円・法人で4700万円、大規模償却資産(原発関連)で1億7800万円の減収となるため、この税率採

用の意義は大きいので、町民の皆様には、負担をかけるが、理解をして欲しい。

問 国保税の資産割を廃止した自治体が増加している。村部の町民の中には、所得も低いのに資産を多く所有する中で重税感がある。よって資産割を廃止しては。

答 (副町長) 資産割を廃止しても、国保税全体を抑えることはできない。他の割合を上げれば、低所得者層の負担感が高くなることもある。なお、今後、国保の広域化等の変革の時期にあり検討課題としたい。

問 現行の軽減税率等や国保基金の現在額は。

答 (税務課長) 2.5・7割軽減者は589世帯で、基金は2億4000万円程である。

問 コンバイン等課税は、使用実態を考慮して非課税扱いすべきでは。

答 (税務課長) 小型特殊自動車は、地方の税法により、所有者に課す。使用実態は認識しているが、財産税でもあり、特例はできない。

空き家対策は、緊急の課題ではないか。条例制定や情報調査をすべき

副町長 所有者の自己責任のもと適正管理をしてもらうが周辺の方々からの不安・要望にも対策を検討する

問 県は対策マニュアルを作ったが実施は市町に任せられている。「行政代執行」を規定した他自治体の条例などを参考にし対応策を考えては。

答 (副町長) 町では「おおい町の美し

い自然と風景を育む条例」に基づき適正管理を願っている。他方、諸事情から老朽化が進み要望等も想定されるため、対応策を検討していく。

全国学力テストの成績公表は

教育長 学校別の平均正答率は公表しないが、良い所、改正すべき所を公表する

問 学校別の成績公表は、競争をおおるとして禁止してきたが、本町の方針を伺う。

答 (教育長) 昨年末では、学校別の結果公表は、無用な競争をおおるとして禁じてきたが、本年度から公表を国は認めた。本町では、結果の概要・課題分析等について公表することを考えている。

町政ここが聞きたい!!

議会報告会を開催しました

8月2日・3日町内4会場で「議会報告会」を開催しました。

土・日の午前中にもかかわらず、ご参加いただきありがとうございました。

今回の報告会は、25・26年議会からの主な議決案件等の報告と、二つのテーマでの意見交換を行いました。

今後、いただいたご意見等を各委員会で検討し取りまとめ、議会ホームページで報告します。

報告事項

- ・ 25年12月、26年3月・6月議会の主な議決案件
- ・ 原発への議会動静

意見交換テーマ

- ・ 人口減少対策について
- ・ 産業の振興と雇用の場の確保について

皆様からのご意見等

「議会運営等について」

- ・ 議会報告会の検証・成果
- ・ 議員の視察・研修の成果



- ・ 請願・陳情の案件
- ・ 「原子力発電関連について」

- ・ 県内外への避難先自治体
- ・ 原発再稼働の動向

「町行政運営について」

- ・ 町の人口減少対策
- ・ 結婚対策や若者出会い事業
- ・ 津波対策事業や避難所看板
- ・ 防災道路等の整備
- ・ 各学校のタブレット端末の指導体制
- ・ サッカー場の利用者
- ・ 産業団地と企業誘致
- ・ 南浦地係・三重地係の宅地分譲
- ・ 空き家対策の充実
- ・ 再生可能エネルギーの推進

議会活動・研修報告

小浜市・おおい町総合振興協議会

期 日 平成26年7月25日

場 所 小浜市

【参加者】議員14名

【協議内容】

- ・ 舞鶴若狭自動車道全通に伴う観光戦略について
- ・ 北陸新幹線若狭ルートとの現状と今後について

委員長・副委員長研修

期 日 平成26年8月8日

場 所 福井県自治会館

【参加者】議員7名

【研修内容】

- ・ 事例研究他

要望活動

期 日 平成26年8月20日・21日

場 所 東京都中央官庁等

【参加者】議員6名

【要望内容】

- 原子力二元管理責任の確実な遂行
 - ① 原子力政策について
 - ② 地域支援策について

- ③ 使用済み核燃料について
- ④ 災害制圧・避難について
- 生命・生活・避難道路網の早期整備について
 - ① 主要地方道 坂本・高浜線の早期完成について
 - ② 一般県道 岡田・深谷線の早期開通について
 - ③ 国道162号(深谷・相生間)道路整備の早期完成について
- ④ 原子力災害制圧道路に接続する橋梁の新設整備と赤礁崎公園線の道路改良について
- ⑤ 主要地方道小浜綾部線の国道昇格について

福井県町議会議員研修

期 日 平成26年8月29日

場 所 福井県自治会館

【参加者】議員12名

【研修内容】

- ・ 条例立案のポイントと政策立案機能の強化へ向けて

追跡

一般質問の行方

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。



鳥獣被害防止緊急対策事業の進捗状況は

新規金網柵工事は計画どおり進んでいるか。
(平成25年9月議会 森内正美 議員)

農林水産振興課長答弁

平成24年度末で68%が完成

平成25年度計画31.5kmの内、22.8kmが完成する見込みで、残りの分についても、少しでも多く設置したい。

どうなった？

平成25年度末で総延長135.7km、87.2%が完成

平成26年度末には総延長で148.5km、95.4%が完成し、平成27年度にすべて完成する予定である。



整備が進む山際恒久柵



道の駅「うみんぴあ大飯」1周年記念イベント



舞若道全線開通による町の魅力発信は

7月20日に舞鶴若狭自動車道が全線開通となるが、町の魅力を発信するイベントは。
(平成26年6月議会 猿橋啓一 議員)

商工観光振興課長答弁

県・近隣市町との連携イベント等多彩な事業を展開

道の駅「うみんぴあ大飯」1周年記念事業などの町独自の事業や、若狭路恐竜展などの県・近隣市町との連携イベント等多彩な事業を展開する。

どうなった？



嶺南主要観光地で来場者20%増加

開通1ヵ月後の効果は、前年同期と比較して、道の駅「うみんぴあ大飯」で27%増加、こども家族館で35%増加している。

あれからどうなったの？

本郷6区 河端 真一さん

日本赤十字社の水上安全法講習会がきっかけとなり、救助員として高浜の海水浴場で30年近く毎年夏シーズン、家族の理解と協力を得て仲間とともに海浜パトロール活動を行っています。

溺者救助、迷子の搜索、手漕ぎボートの転覆救助、水辺の応急手当、雷雨時の遊泳者保護、密漁監視、水上バイクの指導、南風時の注意喚起、離岸流の対応、イベントの海上警備、水難救助訓練、関係機関との連携など海浜パトロール活動は様々です。

シーズン中、子どもの事故が報道されるたび「子どもの事故は絶対防げる」と、子どもがいる同じ親としてパトロール中は、家族で来ている海水浴客に浜辺から海上から注意放送や直接声掛けを行い、事故の未然防止につなげています。

きっかけとなった赤十字活動では、水上安全法をはじめ、救急法、幼児安全法のボランティア指導員として、講習を受講された方々が赤十字の使命にご理解のもと、日常生活並びに災害救護活動時は、良き協力者として行動してくれることを願い、地域の講習普及に努めています。



これらを通して得られた人との関わり、つながりをこれからも大切に、「子どもたちの水難事故ゼロ」のため、仲間とともに地域の方々のご理解、ご協力を得ながら活動しています。

これらを通して得られた人との関わり、つながりをこれからも大切に、「子どもたちの水難事故ゼロ」のため、仲間とともに地域の方々のご理解、ご協力を得ながら活動しています。

名田庄天体観測クラブ 星の庄

事務局 中村 賢一さん



星の観察に良い季節になってまいりました。僕たちは普段、子ども会や観光協会、教育委員会、公民館などから依頼を受けて、夜空の星を楽しむ体験活動を行っています。

平成14年あたりから星の好きな仲間が集まり、天体観測クラブを作ろうということになりました。かれこれ12年になります。「星の庄」と言う素晴らしい

クラブの名前は、暦会館の藤田館長に命名をいただきました。最初は細々とやっていたのですが徐々に皆さんからお声掛けをいただき、楽しく活動させていただいております。

夜空の星見と言うのは、星を見ているだけで「時間旅行」をしているようなものです。例えば今見ている星が100光年離れているとすると、その光が100年前にその星を出発して、今、僕たちのところに届いていることになるのです。つまり100年前の星を見てるんですね。夜空には1年前の光、100年前の光、1万年前などの光が一緒に散らばっていて、見てるだけで人間とは何とちっぽけなものだと思えてくるんですね。

皆さんもたまには空を見上げてみてください。広大でゆったりした時間が流れ、忙しい日常をひと時忘れるのもたまにはいいと思いますよ。人工衛星や国際宇宙ステーションが見えたり、運がよければUFOが見られるかもしれませんよ。保証できませんが……。

議会の傍聴に来てみませんか

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111 内線312)までお問い合わせください。

12月定例会の予定

- 会期: 12月4日から19日まで(16日間)
- 本会議: 4日(議案提案理由説明)、16日(一般質問)、19日(採決)
- 委員会: 予算決算委員会(4日)、総務・産業建設委員会(5日)、原子力特別委員会(9日)

【編集後記】

実りの秋、文化の秋、スポーツの秋がやってきました。

昨年は台風18号の縦断で若狭地方は甚大な被害を受けましたが、今年はそのようなことがないようにと祈っています。

8月に開催した議会報告会にご参加を頂きありがとうございました。今回は、初めての試みとして意見交換会を行いました。これからも、さまざまな取り組みを考えていきたいと思っております。また、グループや団体の皆さまとの出前懇談会も引き続き募集しておりますのでよろしくお願いたします。

さて、今回の議会だよりでは、平成25年度の決算審査と、平成26年度補正予算審査などをお伝えします。質疑や審査の過程をなるべく分かりやすく、と委員で試行錯誤し、紙面を増やしています。皆さまの「意見・感想」などお聞かせください。

(尾谷 記)

発行責任者: 福井県おおい町議会 編集: 議長 松井 榮治 議会広報特別委員会

TEL(0770)771111 福井県大飯郡おおい町本郷136-1111